



しずく 通信

もくじ

01 夏の号のはじめに（はるまき）

02 お知らせ 記録を、ひとつの場所に（灯）

03 感情浴会の記録 第72回～第74回

04 寄稿 夏の夜明けの一枚（オト）

05 寄稿 夏ドラマの第1話（タカノツメ）

06 夏の選書

07 次の会

夏の号のはじめに

(はるまき)

今年最初のすいかを切ったら、半分がまだ白くて、家族でしばらく黙っちゃいました。塩をふったら、なんとか食べられました。

この号には、大事なお知らせがあります。灯に書いてもらいました。一滴舎のこれまでの記録のことです。はるまきも、この六年ぶんの号を、あらためて一冊ずつ読み返しているところです。

お知らせ 記録を、ひとつの場所に

(灯)

九月の終わりに、これまでの記録を、ひとつの場所にまとめます。

感情浴会の記録、しずく通信のバックナンバー、しずく大賞の結果と選評、それからメンバーがそれぞれ書いてきた作品の記録。六年のあいだに、少しずつ、いろいろな場所に置いてきました。個人のアカウントに書いたもの、四年前からまとめはじめたもの、二年前から気持ちごとに並べ直しているもの。探すたびに、たぶん、あちこちの引き出しを開けていました。

それを、ひとつの棚に並べ直します。誰が読んでも、泣きたい夜や、眠れない夜に、そこから一冊選べるように。

秋の号、しずく通信の第26号は、その新しい棚で出す最初の号になる予定です。
会は、これまでどおり毎月続けます。やることは、何も変わりません。

ひとつの場所に並べてみたら、たぶん、思っていたより長い道だったと分かる気がしています。

感情浴会の記録

第72回（四月）　ときめきたい　『アオのハコ』（テレビアニメ）

進行：いちょう（初めての進行）　記録：草餅

毎朝、体育館で先に練習している一つ上の先輩に、少しずつ近づいていく男の子の話です。第1話から第3話までを、同じ時間に再生しました。いちょうは、通学の電車で主題歌をずっと聴いていたそうで、進行の最後に、この作品を選んだ理由を少しだけ話してくれました。会のあと、ロクが、進行、よかった、とだけ言いました。

第73回（五月）　すっきりしたい　『マッドマックス 怒りのデス・ロード』ジョージ・ミラー監督

進行：ロク　記録：ヤギ

砂漠を支配する男のもとから、巨大な改造トラックで逃げる人たちの話です。二時間、一回も休めませんでした。風は途中から立って観ていたそうです。はるまきは音量を上げたかったのに、家族が寝ていたので上げられませんでした。記録の最後には、ロクが、この映画を選んだ理由を短く追記しています。

第74回（六月） 静まりたい 坂本龍一『12』

進行：オト 記録：栞

十二の曲に、どれも日付だけが名前としてついているアルバムです。オトの決まりは、部屋の灯りを消して、画面も伏せて、音だけにすること。栞は、聴きながら曲名の日付を頭の中で並べていたそうです。終わってから、オトは、夜明け前に聴くとまた違う、とだけ言いました。

寄稿 夏の夜明けの一枚

(オト)

四時十分。

夜勤明け。

七月の空は、もう白い。

六月の会で聴いた一枚を、

会のあと、夜明け前に、もう一度。

坂本龍一の『12』。

ピアノと、ほとんど息のような音。

曲と曲のあいだが長い。

そのあいだに、新聞配達バイクの音が入る。

遠くで、カラス。

会で聴いたときは、夜だった。

夜明け前に聴くと、音が、明るいうへ向かっていく気がする。

二曲目から、空の色が変わるのと、同じ速さで。

もう一枚。

ceroの『Obscure Ride』。

夏の、湿った夜の一枚。

でも、最後のほうの曲を夜明けに聴くと、

夜が終わっていくのが、少しだけ惜しくなる。

帰り道の信号が、点滅から、ふつうの青に変わる。

それが、夜の終わりの合図。

寄稿 夏ドラマの第1話

(タカノツメ)

結論から言う。この夏、小生は第1話を四本、録画予約した。

七月は、連続ドラマの第1話がいつせいに始まる月である。小生の決まりは三つ。予告は観ない。出演者の名前も、なるべく調べない。そして、第1話を観終えるまで、どれを最後まで観るかは決めない。

第1話は、辛さの見本である。ひとくち目で、その店の辛さの方向が分かる。ぴりっと来るのか、あとから効いてくるのか、しびれるのか。脚本家は、第1話の最後の五分に、その全部を仕込んでくる。来週まで待てない、と思わせたら、脚本の勝ちなのだ。

四本のうち、何本が残るかは分からない。作品の名前は、最終回の前の週まで書かないことにする。途中で手放したものを、名前を出して手放したと書くのは、小生の流儀に合わないのである。

秋の号で、残った一本の話をする。

夏の選書

『BLUE GIANT』石塚真一（漫画）

選んだ人：草餅。ジャズのサクソで世界一を目指す青年の話。見開きのページから、音が聞こえてくる。夏の夕焼け色の河原で、ひとりで吹いているコマで、うちは止まる……

『きみの色』山田尚子監督（アニメ映画）

選んだ人：いちろう。人の色が見える女の子が、バンドを組む話です。夏休みに観たら、気づいたらサントラをリピートしていました。

『山と食欲と私』信濃川日出雄（漫画）

選んだ人：ぬか。ひとりで山に登って、山頂でごはんを作って食べる女性の話です。山の上のひとくち目は、どうしてあんなにおいしそうなのでしょう。白いごはんが欲しくなります。

次の会

- 第75回（七月） テーマ「救われたい」。スーザン・バーレイの絵本『わすれられないおくりもの』。進行はめじろ、記録はこはぜ。めじろから、一人一ページずつ声に出して読む回にしたい、と提案がありました。
- 第76回（八月） テーマ「懐かしみたい」。細田守監督の『サマーウォーズ』。進行は凧、記録はタカノツメ。

しずく通信 第25号 2026年7月 編集：はるまき

しずく通信 第25号

2026年7月 発行

編集 はるまき

発行 一滴舎

この冊子は会員向けに発行したものです。